

「ABVd 療法」について

この治療法は、ホジキンリンパ腫に対する代表的な治療法です。この治療法ではビンブラスチン(エクザール)、ドキソルビシン、ブレオマイシン(ブレオ)、ダカルバジンの4種類の治療薬が使用されています。

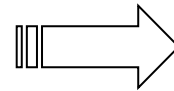
1. 投与方法

薬剤	効能または使用目的	投与時間	1日目	15日目
ラモセトロン(ナゼア)	吐き気止め	静注	○	○
ビンブラスチン(エクザール)	抗がん剤	15分	○	○
ドキソルビシン	抗がん剤	30分	○	○
ブレオマイシン(ブレオ)	抗がん剤	30分	○	○
ダカルバジン	抗がん剤	30分	○	○

2. スケジュール

ABVd療法は28日サイクルで抗がん剤を投与していきます。初日と15日目に抗がん剤を投与すると残りの13日間は「休薬期間」といい、体調の回復を待ちます。その後同様にして治療が進みます。

	1サイクル目			
	1日目	2～14日目	15日目	16目～28日目
投与日	○		○	
休薬日		○		○



3. 特徴

●エクザール

作用: がん細胞が分裂する際の「微小管」のチューブリンというタンパク質に作用して抗がん作用を示します。

注意事項: 点滴中に痛みや違和感があった場合はお知らせください。

●ドキソルビシン: 赤い色をした注射薬です。

作用: がん細胞の DNA に入り込み抗がん作用を示します。

注意事項: ①点滴中に痛みや違和感があった場合はお知らせください。

②点滴後1～2日間くらい尿が赤色になることがあります。心配ありません。

③心臓に疾患がある方や既往のある方はお知らせください。



●ブレオ

作用: がん細胞のDNAに入り込み、抗がん作用を示します。

注意事項: 点滴中に痛みや違和感があった場合はお知らせください。

●ダカルバジン

作用: がん細胞の DNA に入り込み抗がん作用を示します。

注意事項: 点滴中に痛みや違和感があった場合はお知らせください。



4. 副作用

抗がん剤治療によって起こりうる主な副作用の種類、予防法、そしてそれが出現したときのひとまずの対応方法を知ることが副作用対策の第一歩です。ここでは比較的高頻度に出現する副作用と頻度は少なくとも注意が必要な副作用(有害作用)について掲載しました。

(ただし、頻度や強さには個人差があることをご理解の上で、参考にさせていただきたいと思います。)

好中球減少

好中球は体の外から侵入してきた細菌等に対して体を守ってくれる(免疫反応)役割があります。好中球が少なくなると細菌等による感染が起こりやすくなり、感染すると発熱や倦怠感などの自覚症状が現れてきます。場合によっては入院治療が必要な場合もあります。

好発時期: 抗がん剤を投与後7～14日目くらいに減少のピークを迎え、21～28日目くらいには回復します。

対策: 細菌は手を介して口から入ってくるケースも少なくありません。**手洗い、うがい**を心がけましょう。

外出時はマスクを着用してください。

虫歯が原因になることもあります。虫歯のある方は抗癌剤治療を行う前に治療しておくことをお勧めします。

好発時期に38℃以上の発熱があった場合はご連絡ください。

脱毛

好発時期: 2～3週間過ぎ頃から起こりやすくなりますが、治療終了後2～3ヶ月で回復し始めます。

対策: 症状が現れたら、回復まではスカーフ、かつらなどを着用していただくとよいでしょう。

外出時は直射日光を避けていただくため帽子をかぶるとよいでしょう。

頭皮を清潔に保っていただくことをお勧めします。ただし、刺激の強いシャンプー等は避けてください。



吐き気・嘔吐

好発時期: 治療当日から数日間

症状の出方は個人差があり、数日後から出てくる方や、

症状が7日間程度続く方もいらっしゃいます。

対策: 抗がん剤の注射を行う場合は事前に吐き気止めの点滴を行います。

症状にあわせて吐き気止めを処方させていただきます。上手くコントロールできない場合はお伝えください。

考えすぎるとそれだけで症状が出てくることがあります。リラックスしてあまり考えすぎないようにしてください。

食事は無理せず、食べられるものを少量取っていただいても結構です。

水分(水、スポーツドリンク、など)はなるべく取っていただいた方がよいでしょう。便秘の予防にもなります。

便秘は吐き気の原因にもなります。必要に応じて下剤を服用することをお勧めします。

部屋の空気を入れ替えたり、趣味を楽しんだりすることで吐き気が楽になることもあります。



しびれ(末梢神経障害)

末梢神経障害は抗がん剤が知覚神経を障害することで発症します。症状は手・足先から出てくることが多く、「しびれ」、「感覚麻痺」などが初期症状として出てきます。症状が足に出ると「つまずき」や「転倒」の原因にもなります。ほとんどの場合治療が終了すれば回復してきますが、時間がかかる(数ヶ月～1年)場合もあり、症状の強さに応じてお薬を処方することもあります。

好発時期: 抗がん剤点滴終了後数日でも出ることもありますが、多くは数日～数週間間に起こりやすくなります。

自覚症状としては「ボタンがかけにくい」「物を落とす」「1枚膜を張ったよう」「つまづきやすい」などです。

対策: 早い時期に発見した方が回復も早いので、日ごろから注意してください。

症状があるときには刺激を与えないよう心がけてください。水を使うときには手袋を使用する、など。

しびれの症状は我慢せず、しびれの強さや範囲、日常生活で困ることをお知らせください。

便秘

好発時期: 当日～数日間程度、起こることがあります。

主にエクザールが末梢神経の働きを障害することで腸管の運動が妨げられた結果、便秘になると考えられます。

便秘が続くとそれが原因で吐き気や食欲不振を起こすこともあります。

対策: 水分は多めに摂取し、食物繊維を取るようになってください。

症状が苦しいと感じたら下剤をお出しすることも可能なのでご相談ください。

静脈炎

ダカルバジン点滴中に血管に沿って痛みを伴うことがあります。

対策: 異常を感じたらすぐにスタッフにお知らせください。

口内炎

口の中の粘膜が抗がん剤によって直接障害されてできる場合と、抵抗力の低下に伴う口腔内細菌の増殖によっておこる場合があります。症状は口腔内の違和感(舌で触るとザラザラする、など)、疼痛、出血、冷温水痛、発赤・腫脹、などです。**出来やすい場所は下唇の裏側、頬の内側、舌の側面などです。**

好発時期: 抗がん剤投与後、1週間前後くらいに発症しやすくなります。

対策: 次のような状態は口内炎が発症しやすくなります。

1. 口腔衛生状態の不良
虫歯、歯周病、舌苔が多い、義歯が合っていない、歯磨きやうがいができない(できていない)、など
2. 免疫能の低下
高齢者、ステロイドの使用、糖尿病、抗がん剤治療、など
3. 栄養状態の不良
4. 口腔付近の放射線治療
5. 喫煙

口腔内血流の低下、白血球・マクロファージの機能低下、歯石の形成などが原因と考えられる。

口内炎には予防が重要です！口の中を清潔に保ってください。

1. 食後の歯磨き

歯ブラシは柔らかいものを使用して不用意に傷を作らないように心がけてください。

2. うがい

歯磨き以外でも口の中が不快な場合(乾燥、違和感、口臭、など)はその都度行うことがよいでしょう。生理食塩液や水でうがいでいただいても十分効果がありますが、マウスウォッシュを使用する場合は低刺激性のものを選択してください。

生理食塩液

食塩: 4.5g ⇒ **小さじ(5cc)で約1杯**

水を加えて500ml 起きている間2~3時間毎にうがい

3. 禁煙

口内炎が出来てしまったら、刺激物や熱いものは避けてください。

水分は刺激を与えないよう、ストローを使うとよいでしょう。

必要に応じてお薬を処方しますので口内炎が出来てしまったらご相談ください。

水疱や、白苔ができた場合は早めにご連絡ください。

間質性肺炎

間質性肺炎は主にブレオの副作用で、肺が炎症を起こし機能が低下する病気です。頻度はごく稀ですが、放置すると重篤化する危険性があります。症状としては**息切れ・呼吸困難、空咳、発熱**などが起こります。また、この症状は肺に病気を持っている患者さんほど起きやすいことが分かっています。上記の症状が出た場合は自己判断せずに早めにご相談ください。

対策: 初期症状は風邪によく似ているため**自己判断せずに早めにご相談ください。**



アレルギー

好発時期: 点滴中または点滴後の比較的早い時点で現れることがあります。

自覚症状は、**息苦しい、顔がほてる、胸が痛い、発疹がでる、汗がでる、などです。**

対策: 異常を感じたらすぐにスタッフにお知らせください。

血管外漏出

抗がん剤を点滴しているときに血管の外に薬が漏れてしまう(漏出)ことがまれにあります。症状としては点滴部位の違和感、痛み、腫れなどで、場合によっては血管に沿って症状が出てくることがあります。もし、症状にお気づきになった場合は早めにスタッフにお声掛けください。

好発時期: 点滴している間が最も多く、**まれに帰宅数日後に症状が出てくることがあります。**

対策: 抗がん剤の種類によって対策が異なります。基本的には患部を温めたり、軟膏や注射による治療を行います。

※この他にも日常と違った症状がでた場合は病院までご連絡ください。

済生会宇都宮病院

代表:TEL 028-626-5500